

# 令和 2年度 事務事業評価シート (令和 1年度分)

( 令和 2年 7月 作成)

1 事務事業の基本事項			整理番号	343000-01-05
事務事業名	プラネタリウム運営事業		担当部課	こども支援部 青少年課
			電話番号	04-2964-1111 内線 2365
総合計画 基本計画	施策の大綱	00	実施期間	昭和62年 ~ 年
	政策(節)			その他の計画
	施策(項)		予算事業番号	
予算事業名	プラネタリウム整備事業			予算事業番号
事務分類	<input type="checkbox"/> 自治事務のうち義務的なもの <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務のうち任意のもの <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> サービス提供 <input type="checkbox"/> 施設整備 <input type="checkbox"/> 許認可事務 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 施設維持管理 <input type="checkbox"/> 内部事務 <input type="checkbox"/> その他			
	実施形態 <input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input checked="" type="checkbox"/> その他(指定管理)			
事業開始の背景・経緯	学習指導要領に沿った学習番組を投影することにより、体験的に星や月の動きを学習できる環境を整えた。プラネタリウムの投影を通して、幼児から大人まで天文・宇宙や世界に対する理解を深める。			

## 2 事務事業の目的・内容

対象	小学校4年生学習投影、保育所等の団体投影及び一般投影として幼児・児童・大人	実施の根拠 (法令・条例等)	入間市児童センター設置及び管理条例
目的 (もたらそうとする成果)	学習番組や天文・自然科学等をテーマにしたプラネタリウム番組を提供し、天文・宇宙・科学に対する理解を深めることにより、科学に関する知識の普及と啓発を図る。		
全体の事業内容	①学習投影：随時(小学校4年生) ②団体投影：随時(保育所等) ③一般投影：平日…午後、土日祝日…午前午後 ④映画：土日祝日…午後 ⑤天体観望会：第3土 ⑥出張観望会：随時 ⑦天文クラブ：第2土 ⑧星空コンサート ⑨天文講演会 ⑩星空かふえ ●観覧料(一般投影・映画) こども(小・中・高)50円、おとな100円		

## 3 事務事業の実施状況と成果

令和1年度の実施内容	市内全小学校16校の4年生等を対象に学習投影を実施。また、天体観望会、星空コンサート等の事業を行い、多くの市民を対象に宇宙・天文についての普及活動を行った。昨年度に引き続き市内の小学校のほか、地域のまつり会場等に出向き天体観望会を実施した。プラネタリウム観覧者数は10,493人。							
区分	活動指標名	区分	単位	平成29年	平成30年	令和1年	令和2年	目標値の根拠・考え方 (前年度値の場合は「前年度実績」)
実施状況	① 投影回数	目標値又は前年度値	回	451	550	550	500	プラネタリウムの投影回数(平日、休日、夏休み等の年間投影回数より設定)
		実績値	回	405	549	495		
		達成率又は前年度比	%	89.8	99.82	90		
	② 小学4年学習投影等参加校	目標値又は前年度値	回	16	16	16	16	学校での学習内容に合わせて学習投影を行っている(市内小学校数より設定)
		実績値	回	27	24	24		
		達成率又は前年度比	%	168.75	150	150		
	③ 天体観望会等回数	目標値又は前年度値	回	9	12	12	12	天体観望会開催数(月1回の定期実施予定分)
		実績値	回	9	13	11		
		達成率又は前年度比	%	100	108.33	91.67		
	④	目標値又は前年度値						
		実績値						
		達成率又は前年度比	%					
区分	成果指標名	区分	単位	平成29年	平成30年	令和1年	令和2年	目標値の根拠・考え方 (前年度値の場合は「前年度実績」)
成果	① 観覧者数	目標値又は前年度値	人	10,836	9,612	12,645	10,493	プラネタリウムの観覧者数(前年度実績)
		実績値	人	9,612	12,645	10,493		
		達成率又は前年度比	%	88.7	131.55	82.98		
	②	目標値又は前年度値						
		実績値						
		達成率又は前年度比	%					

※無印は実績値の増大によって達成率が向上するもの  
 ※印は実績値の減少によって達成率が向上するもの

4 事業費

区 分			平成29年	平成30年	令和 1年	令和 2年	
経 費	事業費	当初予算額	2,082 千円	0 千円	0 千円	0 千円	
		決算(見込)額 ①	1,954 千円	0 千円	0 千円		
	人件費	従 事 職員数	一般職・労務職	0.3 人	0 人	0 人	
			嘱託・再任用	0.5 人	0 人	0 人	
			パート等	0 人	0 人	0 人	
		人 件 費 ②	4,296 千円	0 千円	0 千円		
	総 事 業 費 ③=①+②		6,250 千円	0 千円	0 千円		
		国・県支出金 ④	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他特定財源 ⑤	0 千円	0 千円	0 千円		
	特 定 財 源 ⑥=④+⑤		0 千円	0 千円	0 千円		
入間市年間負担額 ③-⑥		6,250 千円	0 千円	0 千円			
効率性 指 標	指標名	観覧者数 ⑦	9,612 人	12,645 人	10,493 人		
	コスト	観覧者1人当たり ③÷⑦	650 円	0 円	0 円		
備 考							

5 事務事業の評価

◆ 1次評価

個 別 評 価	必 要 性	有 効 性	効 率 性
	<input type="checkbox"/> 必要不可欠 <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い	<input type="checkbox"/> 大変有効である <input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> あまり有効でない <input type="checkbox"/> 有効でない	<input type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> やや向上 <input type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> やや悪化 <input type="checkbox"/> 悪化
総 合 的 評 価	評 価		今 後 の 方 向 性
	新型コロナウイルスの影響から施設を休館したことにより、観覧者数は減少したものの、児童をはじめ広く市民の天文に触れる機会の提供、一般投影や小学4年生を対象にした学習投影の他、天体観望会・各公民館での出張天体観望会、天体観望前に、お茶やお菓子を楽しみながら星の話をする「星空かふえ」等を実施し、児童等に天文知識の普及・啓発を図ることができた。		<input type="checkbox"/> 充実 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <hr/> <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 完了・終了
改 善 課 題	令和 1年度の取り組み課題		改 善 の 評 価
	指定管理者との調整も含め、今後のあり方を検討する。		
	令和 2年度の取り組み課題		<input type="checkbox"/> 改善できた <input checked="" type="checkbox"/> やや改善できた <input type="checkbox"/> 改善できなかった
	プラネタリウム施設が老朽化しているため、令和2年度中に今後の方向性をまとめる。		
令和 3年度の取り組み課題			
今後の方向性に基づき事業に取り組む。また、現在の機器が使用可能な限り、現状維持を基本とした修繕を図りながら施設を運営していく。			

◆ 2次評価

総 合 的 評 価	今 後 の 方 向 性	具 体 的 内 容
	<input type="checkbox"/> 充実 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <hr/> <input type="checkbox"/> 廃止・休止	指定管理者制度において、民間活力を活かした新たな手法等で効果的・効率的に実施する前提で当面は継続しているが、移動児童館や天体観望会等によっても、天文に関する教育的効果、普及啓発効果が図られている。1回あたりの観覧者数の減少、設備の老朽化や更新費用を考慮し、市施設におけるプラネタリウムの必要性を検討した上で廃止・統合・縮小等の判断を速やかに行い、天文に関する事業の見直しを進める必要がある。